

学校での授業と道場での正しい指導のため 班に分かれ、実践、実践そして実践

令和7年度全国なぎなた指導者研修会



①松井講師（左）が初心者を指導②鈴木（亘）講師が防具の置き方を説明③演技競技会④リズムなぎなた

令和7年度全国なぎなた指導者研修会（主催＝日本武道館、全日本なぎなた連盟、後援＝スポーツ庁）が11月28～30日の日程で、会場の日本武道館研修センターに49名の参加者が集まって実施された。

本研修会では目的別研修を実施。2日目に中学校武道授業と地域なぎなた指導者の班に分かれ、目的別研修を3回行った。地域なぎなた指導者の班は多様な研修要望に応えるため、①初心者指導、②しきけ応じ、③発展的な指導の実践を3グループに分かれて順繰りに実施。同研修は実に4時間半にも及んだ。その後は、2人で「しきけ応じ」を演じ優劣を競う演技競技による恒例の「勝浦なぎなた大会」を開催。選手2名の息を合わせなければ高段者と言えども上位入賞は難しい。なぎなた門外漢の参加者には講師がペアになるなどチームの実力は拮抗し、大会は大盛り上がりとなった。

◇実施内容

1日目：情報提供、全体指導、全員で中学校武道授業の実技研修／2日目：中学校武道授業と地域なぎなた指導者の目的別研修（①初心者指導、②しきけ応じ、③発展的な指導）、演技競技会、活動事例発表／3日目：中学校武道授業と地域なぎなた指導者の目的別研修（①初心者指導、②しきけ応じ、③発展的な指導、④リズムなぎなた）

◇講師一覧

・講師

今浦 千信（全日本なぎなた連盟事務局長）／松井 亮子（全日本なぎなた連盟普及委員会委員長）

濱岡紀久子（全日本なぎなた連盟審判委員会委員）／安田 淳子（全日本なぎなた連盟普及委員会委員）

鈴木 宜（全日本なぎなた連盟審判委員会委員）／鈴木 理香（全日本なぎなた連盟総務委員会委員）

増田 桂子（全日本なぎなた連盟審判委員会委員長）

・助講師

服部ゆかり（茨城県立鉢田第二高等学校）／本山 幹子（熊本県立第一高等学校 教諭）

浅沼 友貴（近畿大学附属豊岡高等学校・中学校）／和田うらら（東京都立城東高等学校）

研 修 内 容



濱岡講師（中央）の指導
【全体指導】



今浦講師（中央奥）のしきけ応じの指導
【目的別研修】



ポールに向けて全員で面打ち
【全体指導】



鈴木（理）講師（左）が初心者に丁寧に説明
【中学校武道授業】



安田講師（左奥）による初心者指導
【目的別研修】



小椋かおり氏（右奥）は体験授業の報告を行った
【活動事例発表】

令和7年度参加者感想（抜粋）

現場の先生方も参加されていて、現場の理解が得られているのはすごいことだと感じました。授業や部活でなぎなたが採用されたとしても、負担に感じないような仕組みと、6時間で楽しい、もっとやってみたいなと思わせる稽古には、相当の技量が必要だなと思いました。色々と教えていただいたことを基にバリエーションを組み合わせていきたいです。



研修を通してなぎなたを考えてみると、現代の子供たちにピッタリな武道なんだと驚きました。「人との適切な距離」を自然にできてしまうなぎなたは本当に素晴らしいと思いました。また「こうであるべきから離れて考えると楽だ」と講師の先生から教えていただきました。子どもたちに「なぎなたがおもしろい！」と思ってもらえることを優先して、たくさんの人たちに指導をしていきたいです。

講師の先生方の熟練された無駄のない指導方法に触れ、目から鱗の連続でした。初心者の方に対する指導にあたり、つい説明が多くなることを日々悩んでいたので、先生方の簡潔で分かりやすいご指導と、切り分けた動作を繰り返し行い、できるようになる楽しさを味わいながら体で覚えらえる稽古を自ら体感できたことは、大変有意義で参考になりました。そして、2日目最後の演技競技大会も印象的でした。様々なレベル、年齢、背景の参加者皆にとって充実感があるよう組み合わせたり、チームで心を合わせる様にアドバイス、そして全員で讃えあう温かい空気作りなど、先生方の愛を感じる大会づくりを実感することができました。



私は中学校の体育（なぎなた）の補講協力をすることがあるため、本研修に参加しました。研修ではグループに分かれて実際に声にして順番で指導をしてみると、初心の方への声かけの難しさが分かり、今はまだ指導をしていない、未来の指導者にも参考になったのではないかと思います。

